

46 教科指導と生徒指導

単元等 授業論・指導技術「授業規律と生徒指導」

◆Contents

・生徒指導提要

1 授業の内容

三角比を使って辺の長さを計測する問題演習

2 授業を見ての所感

先日は、3年生の進路指導等でお忙しい中にもかかわらず、個別訪問で授業を行っていただきありがとうございます。

また、学習指導案まで作成して授業に臨まれていたことに感心しました。

とても丁寧で、先生の誠実な人柄が感じられる授業だったと思います。

また、生徒の授業を受ける姿勢がとても良好で、先生の指導がよく行き届いていることが感じられました。

3 補足すること

私は、授業を行われた先生に、授業の内容や、授業者の日常考えていることに関する話題を提供させていただいております。

これは、授業者に配信するとともに、最終的には県内の先生方へ向けた資料集を作成することを意図しています。

今回は、先生が一番大切にしている、授業の規律について私が感じているところを述べてみたいと思います。

■ 生徒指導提要

平成22年3月に、文部科学省から「生徒指導提要」が出されました。これは、時代の変化等に対応して策定された生徒指導に関する「基本書」と呼ばれるものです。

この提要が出された背景には、次に掲げるような「時代の変化」への対応があげられます。

- ① グローバル化、少子高齢化等、社会の変化に対応するため、小学校から高校までの一環指導の必要性が問われていること
- ② ネット犯罪の多発、いじめ、児童虐待、DVなど、現代社会における諸問題への対応

提要の中で、特に重要なポイントとして次の2つをあげておきたいと思います。

(1) 教育課程と生徒指導

生徒指導は、領域的意味合いを持つ活動ではなく、機能的意味合いを持つ活動であること、つまり、生徒指導は、進路指導や、教科指導など全教育活動の中で推進していく必要があるということです。つまり、

「生徒指導が充実する⇔教科指導が充実する」

というように、教科指導と生徒指導が相互に関連しあう中で、相乗効果を生み出すことがこれからの生徒指導の在り方であることが鮮明に示されていると思います。

そこで、重要なポイントは、授業の中での生徒指導は先生の側の都合だけで行われるものではないということです。例えば、「私語をさせない」「居眠りさせない」「最後まで集中させる」ということを授業の中で徹底するとすれば、それは生徒を上から管理して、形式的な指導を行うことだけではなく、「自分は生徒にわかる授業を展開していたか」「生徒が意欲を持つようなモチベーションを与える展開案であったか」といった、自分の指導法と一体的、循環的に生徒指導が進められなければならないと私は考えます。

提要によれば、教科指導における生徒指導の評価の観点として、以下のものがあげられています。

- ① 授業の場で生徒の居場所を作ること
- ② わかる授業を行い、主体的な学習態度を養うこと
- ③ 共に学びあう意義を確認させること
- ④ 家庭学習を充実させること
- ⑤ 言語力（コミュニケーション力）を養成すること

生徒に授業規律を求めるには、形をきちんと決めるための約束事を徹底することはもちろんですが、同時に、指導者の側の授業力を向上させ、生徒にわかる授業、生徒を陶冶する授業を日々行う資質や覚悟が問われるわけです。

従って、教材研究の方向は「教科書の内容を伝える」「問題を解く技能を身につけさせる」だけではなく、数学が生活の中でどう活用されていくか、生徒に思考することの面白さを、どのような数学的活動を通して伝えるかななどを、様々な角度から研究していくが必要になると思います。

（２）体制づくりから態勢づくりへ

授業規律を含め、授業の中で生徒指導を行うには、教師という個に任せるのではなく、組織として、校内体制を確立させることがまず必要です。

そして、そういう体制を確立するとともに、その体制を「機能させる」ことが必要になります。つまり、システム・ノウハウを共有して生徒指導を行うのではなく、職員全体が「共通の理念」を持って生徒指導にあたることが大切です。

これは「体制づくり」から「態勢づくり」への指導と呼ばれています。

教科指導でいえば、生徒の規律を含めた学習環境を整えるとともに、教師間で話し合いや研修を充実させることや、自由に授業を見せ合う雰囲気をつくるなど、授業力を相互に高めあう体制づくりが求められるのではないかと思います。

実は、我々が行っている個別訪問には、授業者の授業力向上だけでなく、数学科の組織化や研修体制の支援という意味も含まれています。

震災からの復興が進められている今、私たち教師に求められるのは、教科指導を通しての豊かな心の育成、いわば教育の側からの復興支援なのではないかと思います。